

子どもが「自分でしたい」、あなたは？

指導のためのプログラム

<保育所>
1歳児

<展開例>

1. 指導の機会

保育所（保護者会）

2. 対象年齢

1歳児の保護者

3. ねらい

「自分でしたい」という欲求を満足させ、できたことをほめてあげることが子どもの意欲や生活習慣につながることに気づく。

(1) 題材 Step2 1歳児の成長の様子

(2) 展開

時配	指導の流れ	指導上の留意点
5	<p>1 導入</p> <p>○保育所でのクラスの子どもの様子をスライドショーで視聴し、子どもの成長を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff2cc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>子どもが「自分でしたい」、あなたは？</p> </div>	<p>○特徴的な写真をそろえ、子どもの成長を確認しながら本時のねらいを設定する。</p> <p>○「何でも自分で！」という場面が多いことに気づかせる。</p>
15	<p>2 展開</p> <p>(1) 子どもが自分でしたがる場面にはどんなことがあるかを考え、発表しあう。</p> <p>(2) いくつかの場面を取り上げて話し合う。</p> <p><話し合いのポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにどんな言葉をかけますか？ ・その時、子どもの気持ちはどうでしょう？ ・子どもの気持ちを認める言葉かけは？ <p><例として></p> <p>① ご飯やおかずを手づかみで食べて、こぼしてしまう。 親：きたないからやめて！ 子：自分で食べたいよ。 親：そうね、自分で食べられてよかったね。</p> <p>② ジュースをコップに注ぎたがるが、うまくできない 親：こぼすからやめて！ 子：じぶんでやってみたいよ。 親：そうね、やってみたいよね。 少しやってみようね、と援助する。</p> <p>③ ズボンを自分ではこうとするが、片方に両足をいれてしまう。</p>	<p>○できるだけ多くの場面を出させるよう多くの参加者に発表してもらおう。</p> <p>○日常子どもに言っているように話したり、子どもの気持ちを想像したりするよう促す。</p> <p>○肯定的な言葉かけの具体例を示してから進めていく。</p>

親：うまくできないんだからやめて！
子：じぶんではけそうだよ！
親：よかったね、はけそうだね。がんばれ！

10

3まとめ

(1) 家庭教育支援資料「心の育ちを大切に！＜その2＞」を配布し、読み進めていく。

- ・「自分でしたい」（自我の芽生え）や好奇心は1歳児の発達上大切なことである。
- ・「自分でしたい」という欲求を満足させ、できたことをほめてあげることが子どもの意欲やよりよい生活習慣につながる。
- ・欲求だからとすべてさせて良いのではなく、気をつけて見守り、危険なことはさせないようにする。

(2) 家庭教育支援資料「Step2 1歳児の成長の様子」チェックシートに記入する。

- 自我の芽生えや好奇心は発達段階において大変重要なことであることを強調する。
- 子どもの要求だからといって何でも受け入れるのではなく、正しいことといけないこと、危険なことなどについては的確な判断が必要であることを強調する。
- あくまでも発達の目安であることや成長には個人差のあることを話す。